

令和6年度
わかりやすい予算書
(予算概要書)



～ 目次 ～

I 予算の全体像

- | | |
|-------------------|---|
| 1. 粕屋町の財政状況（普通会計） | 1 |
| 2. 令和6年度の予算総額 | 3 |

II 歳入（一般会計）

- | | |
|----------|---|
| 1. 歳入の構成 | 4 |
|----------|---|

III 歳出（一般会計）

- | | |
|------------|---|
| 1. 目的別歳出予算 | 5 |
| 2. 性質別歳出予算 | 6 |

IV 令和6年度 主要な事務事業

- | | |
|----------------------------|----|
| 1. 事務事業説明の見方 | 7 |
| 2. 令和6年度 主要な事務事業 | 7 |
| 3. 令和6年度 重点事業及び予算概要書掲載事業一覧 | 15 |

V 予算資料

- | | |
|----------------------------|----|
| 1. 総括表 | 17 |
| 2. 予算規模の推移（一般会計・特別会計・企業会計） | 18 |
| 3. 自主財源比率の推移（一般会計） | 19 |
| 4. 消費的経費・投資的経費の推移（一般会計） | 20 |
| 5. 地方債残高の推移（一般会計） | 21 |
| 6. 公債費の推移（一般会計） | 21 |
| 7. 普通交付税と臨時財政対策債の推移 | 22 |
| 8. 基金の推移 | 22 |
| 9. 地方債と基金の状況 | 23 |

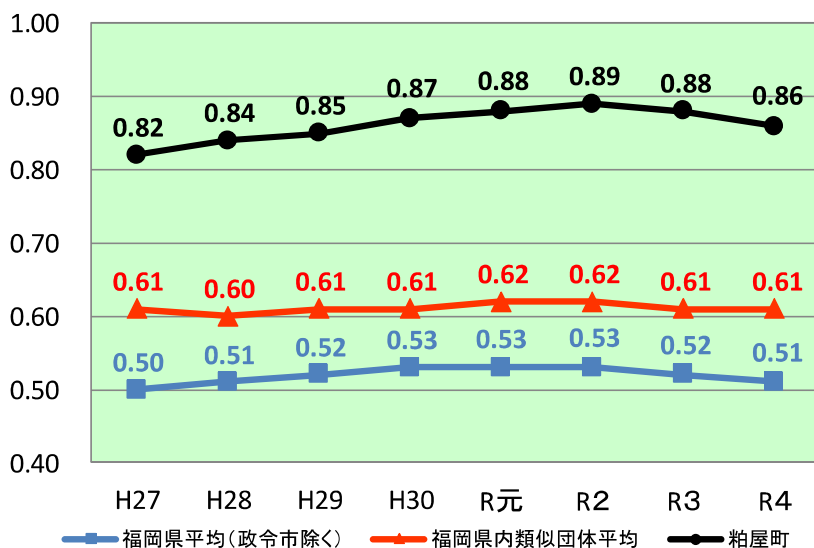
I 予算の全体像

1. 粕屋町の財政状況（普通会計）

令和4年度普通会計決算では、実質収支が約6億7,000万円の黒字となりました。財政調整基金・減債基金・公共施設整備基金の三基金の年度末残高は、前年度から約3億2,000万円増加し40億3,502万円となりました。町債は、個別施設計画に基づく公共施設の長寿命化工事等の実施に伴い、前年度から約19億4,000万円増加し、年度末の残高は127億6,079万円となりました。財政健全化判断比率については、国が示す早期健全化基準を大きく下回っており、財政の健全性は確保されています。

令和5年度は、地方創生臨時交付金を活用して、物価高騰の影響を受ける住民や事業者に対する様々な支援事業を行いました。一方で、歳入の根幹となる町税は、前年度から増加すると見込まれ、また、地方交付税が令和4年度に続き追加交付されたことなどから、基金への積立てが可能となり、三基金残高は約2億5,000万円増加する見通しです。しかしながら、令和5年11月に時点修正を行った令和7年度までの財政シミュレーションでは、普通建設事業費は減少するものの、一般財源の伸びが緩やかであり、人件費や扶助費を始めとする義務的経費の増加など、令和6年度、7年度とも財源不足になると見込まれる厳しい財政運営になることが想定されます。

■ 財政力指数 ■



【財政力指数とは】

自治体の財政力をあらわす指標で、数値が大きいほど財政的に安定した団体とされ、「1」を超えると地方交付税が交付されなくなります。

各年度とも県平均などを大きく上回っており、良好な値を示しています。

【類似団体とは】

国勢調査を基に、市町村を人口と産業構造により分類したもので、類似する他の自治体と比較することで、自町の財政状況の特徴などを把握することが可能になります。福岡県内の類似団体には、宇美町・篠栗町・志免町・須恵町・新宮町・岡垣町などがあります。

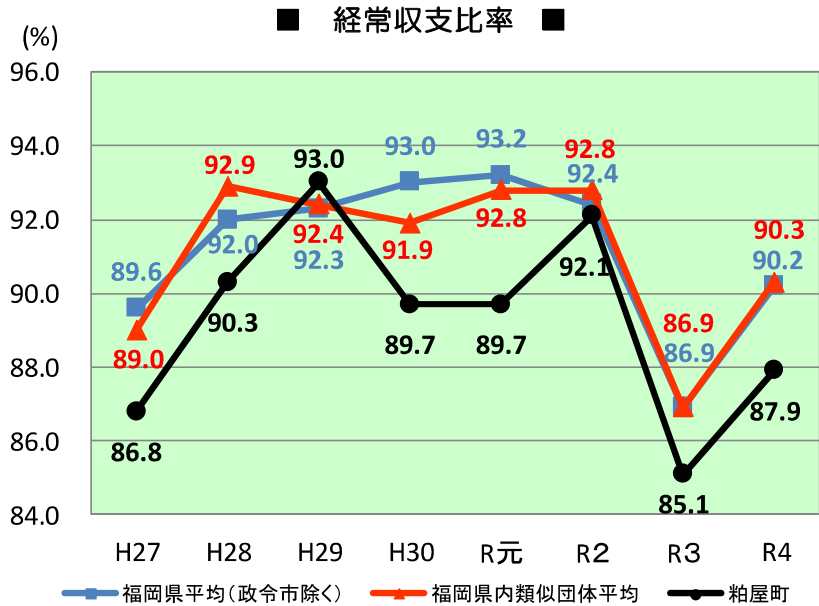
【標準財政規模とは】

地方公共団体の標準的な状態で通常収入が見込まれる一般財源の規模を示すものです。

【経常収支比率とは】

地方税・地方交付税などの経常一般財源収入に占める人件費・扶助費など経常的な経費の割合のことです。

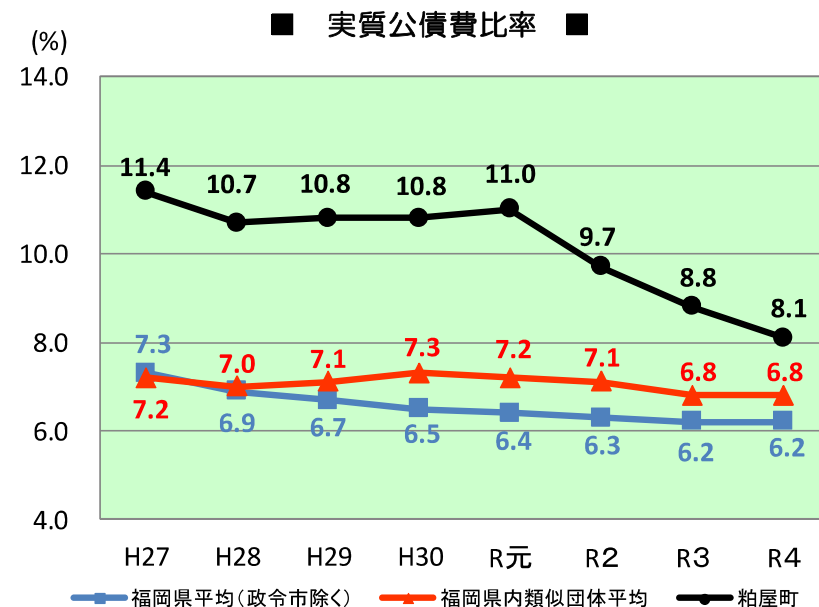
令和4年度は前年度から2.8ポイント上がりました。90%を下回りましたが、人件費や扶助費などの経常的な経費は増加傾向にあり、財政の柔軟性に欠ける状況が続いています。



【実質公債費比率とは】

実質的な公債費に充てる一般財源の標準財政規模に対する比率のことです。

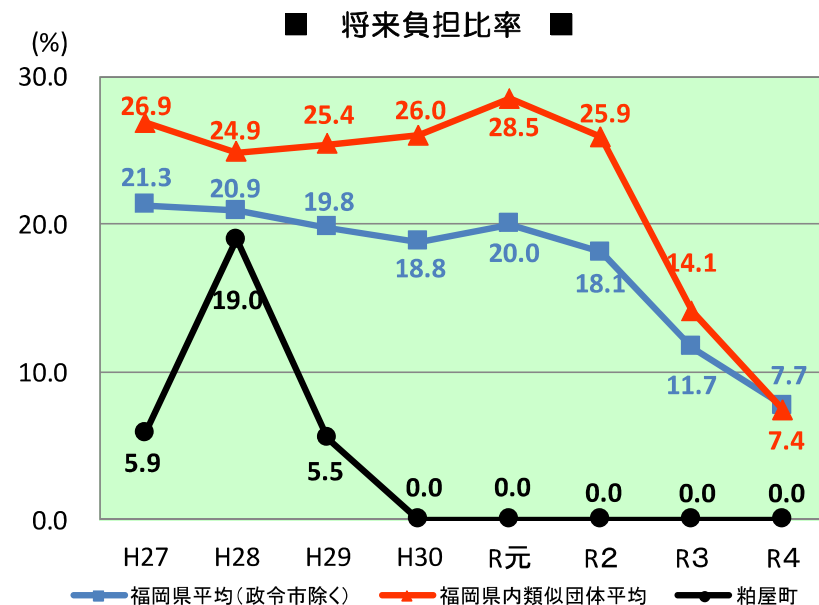
近年減少傾向にあり、令和4年度は前年度から0.7ポイント下がりました。県平均などを上回っていますが、早期健全化基準(25.0%)を下回っており、健全性は確保されています。



【将来負担比率とは】

自治体が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率のことです。

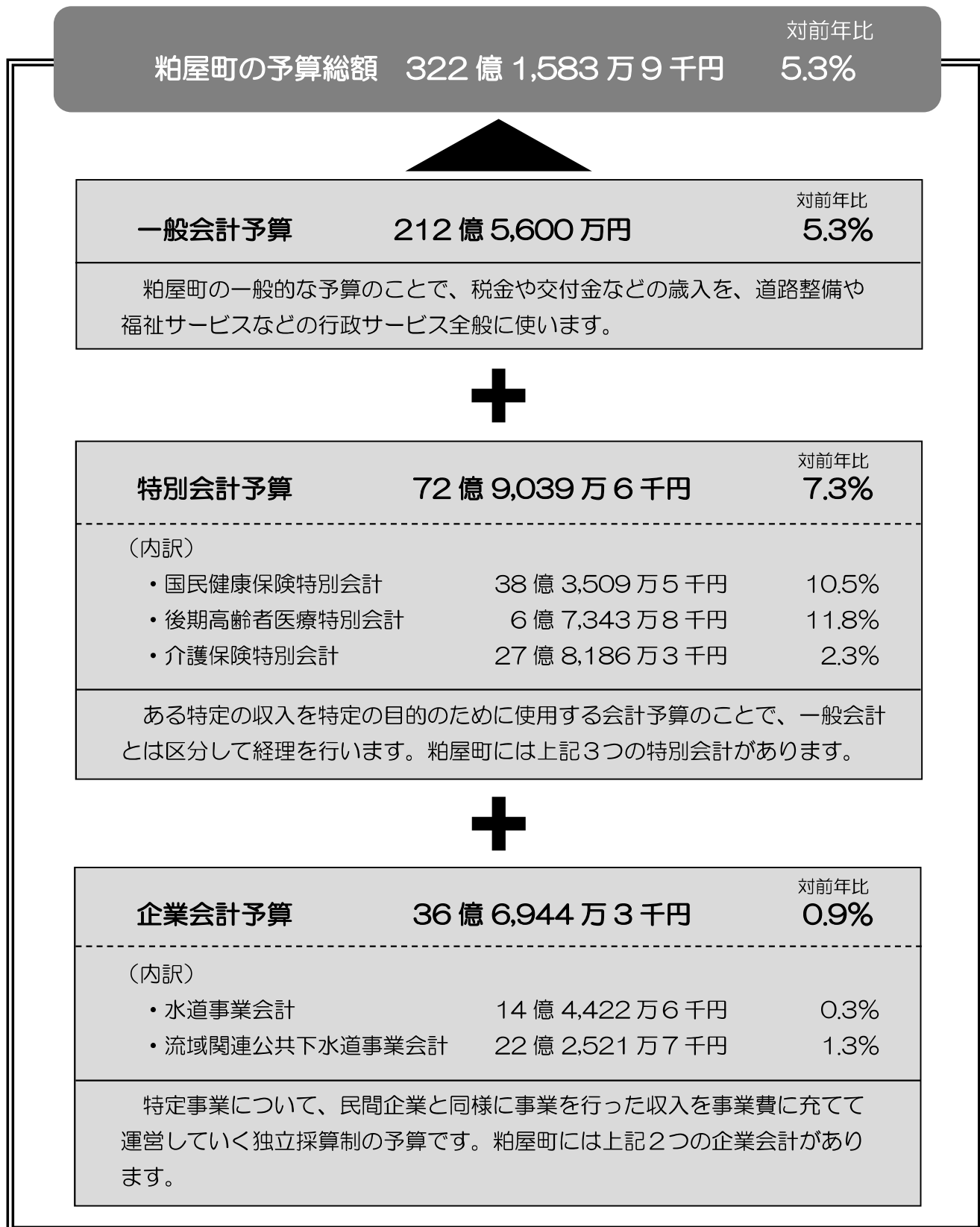
令和4年度は前年度に引き続き、将来負担額が充当可能財源等を下回ったため算定されず、健全な値を示しています。なお、早期健全化基準(350.0%)を大きく下回っています。



2. 令和6年度の予算総額

一般会計予算は **212 億 5,600 万円** で、前年度当初予算から **10 億 7,600 万円(5.3%)** の増加となっています。特別会計と企業会計を合わせた予算総額は **322 億 1,583 万9千円** で、前年度当初予算から **16 億 945 万7千円(5.3%)** の増加となります。

※対前年比は、前年度の当初予算との比較



Ⅱ 歳入（一般会計）

1. 歳入の構成

自主財源は、大半を占める町税が前年度比 **5,952 万9千円(0.8%)**、寄附金が**2億 5,000 万円(26.3%)**の増となりました。一方で依存財源は、前年度比**5億 28 万8千円(5.2%)**の増で、国・県支出金の増加が主な要因となっています。自主財源と依存財源の前年度からの増加率が同程度であったため、自主財源の割合は前年度と変わらず **52.4%**となりました。

《用語の説明》

【町税】 町民の皆さまに納めていただく税金です

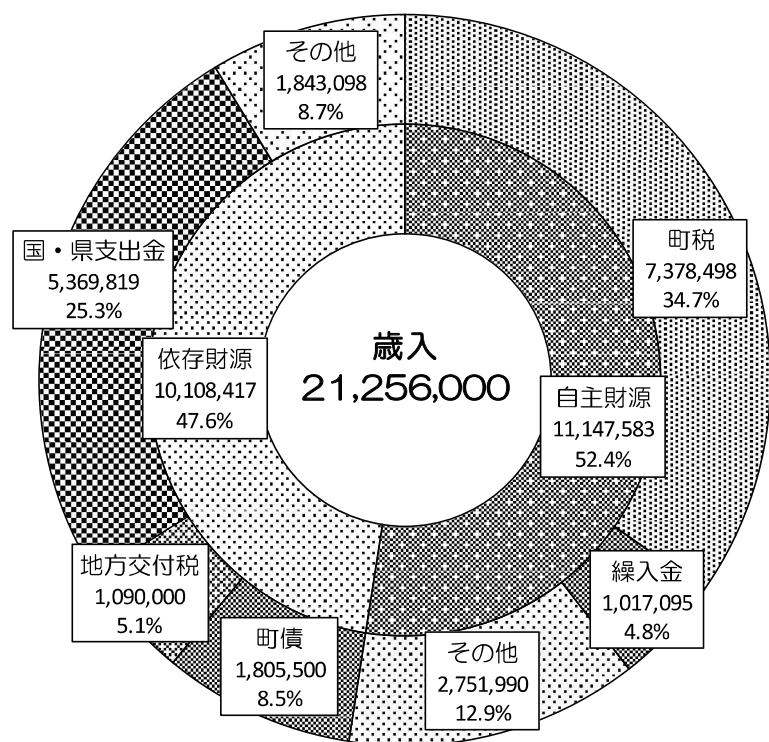
【繰入金】 歳入不足を補うため、積み立てていた基金から繰り入れるのが主で、特別会計への繰出金を精算後繰り入れることもあります

【町債】 町が事業資金を調達するための借金及び地方交付税の振替である特例地方債（臨時財政対策債）で、中長期にわたり返済します

【地方交付税】 県や市町村の財政状況に応じて国から地方に交付されるお金です

【国・県支出金】 町がおこなう事務や事業に対する国や県からの補助金（負担金）です

（単位：千円）



※端数処理（四捨五入）により合計が一致しない場合があります。

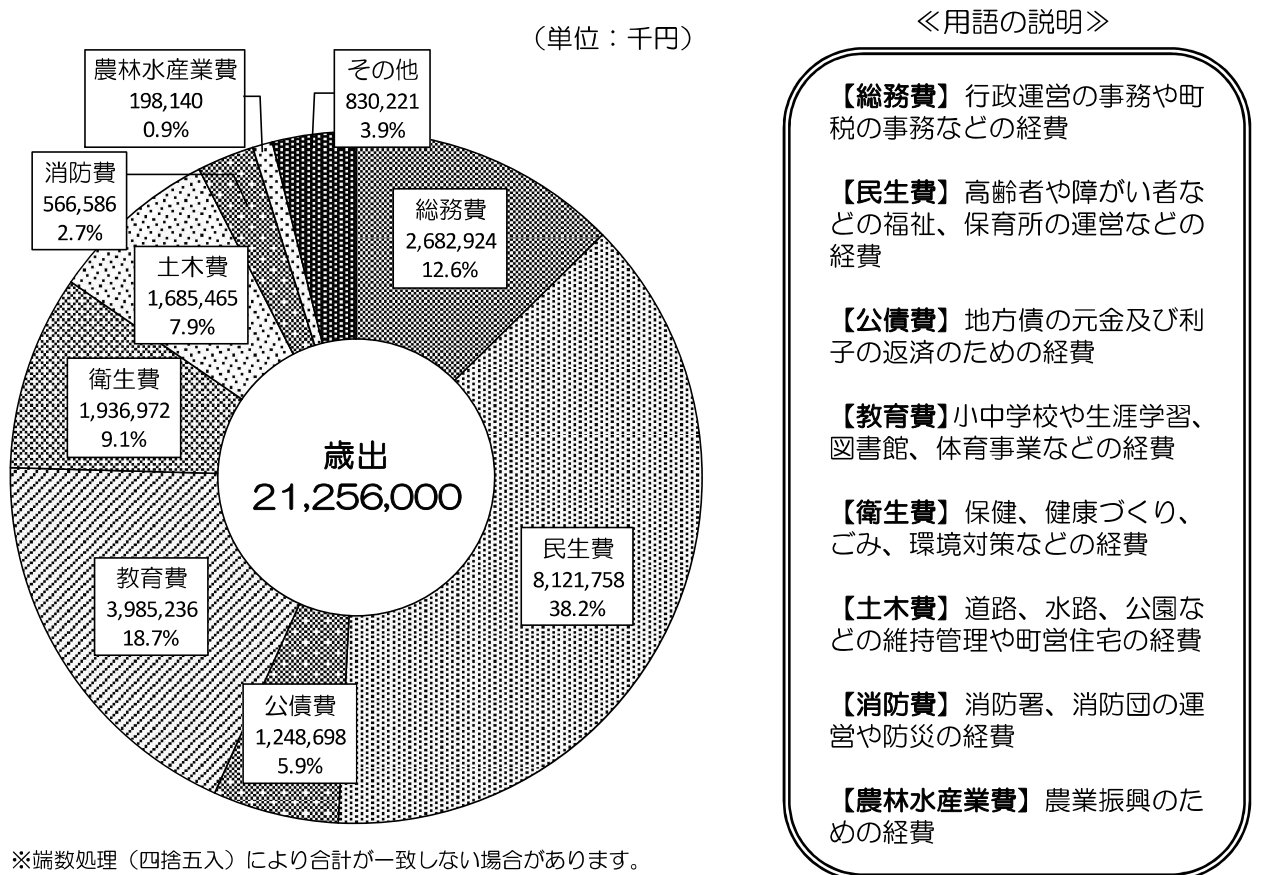
（単位：千円）

歳入構成		6年度当初予算額	5年度当初予算額	比較	対前年比 (%)
自主財源	町税	7,378,498	7,318,969	59,529	0.8
	繰入金	1,017,095	960,967	56,128	5.8
	その他	2,751,990	2,291,935	460,055	20.1
	計	11,147,583	10,571,871	575,712	5.4
依存財源	町債	1,805,500	2,477,200	△ 671,700	△ 27.1
	地方交付税	1,090,000	1,040,000	50,000	4.8
	国・県支出金	5,369,819	4,569,137	800,682	17.5
	その他	1,843,098	1,521,792	321,306	21.1
計	10,108,417	9,608,129	500,288	5.2	
合計		21,256,000	20,180,000	1,076,000	5.3

Ⅲ 歳出（一般会計）

1. 目的別歳出予算

定額減税を補足する給付の実施などにより総務費が前年度比**7億 983 万5千円(36.0%)**、柚須文化センター長寿命化改修工事や低所得者支援として行う給付の実施などにより民生費が**8億 7,108 万3千円(12.0%)**増加した一方で、仲原小学校と粕屋西小学校の増築工事や総合体育館の大規模改造工事の完了などにより、教育費が前年度比**7億 250 万7千円(15.0%)**の減となりました。また、仲原川改修工事の完了や朝日団地第1期建替工事費の減少などにより、土木費が前年度比**1億 8,543 万1千円(9.9%)**の減となりました。



(単位：千円)

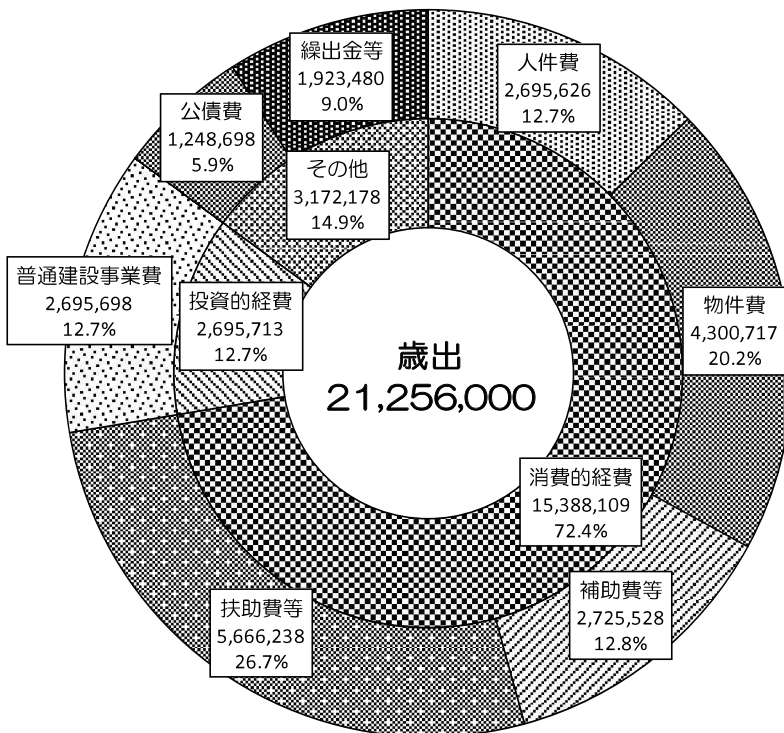
目的別歳出構成	6年度当初予算額	5年度当初予算額	比較	対前年比 (%)
総務費	2,682,924	1,973,089	709,835	36.0
民生費	8,121,758	7,250,675	871,083	12.0
公債費	1,248,698	1,176,303	72,395	6.2
教育費	3,985,236	4,687,743	△ 702,507	△ 15.0
衛生費	1,936,972	1,867,918	69,054	3.7
土木費	1,685,465	1,870,896	△ 185,431	△ 9.9
消防費	566,586	539,952	26,634	4.9
農林水産業費	198,140	143,630	54,510	38.0
その他	830,221	669,794	160,427	24.0
合計	21,256,000	20,180,000	1,076,000	5.3

2. 性質別歳出予算

消費的経費は、低所得者支援や定額減税を補足する給付の実施などにより前年度比**18億6,883万4千円(13.8%)**の大幅な増となり、公債費や積立金の増加により、その他の経費が**2億1,320万4千円(7.2%)**の増となりました。普通建設事業費は前年度比**10億603万8千円(27.2%)**の大幅な減少となり、投資的経費の割合は**12.7%**と前年度から**5.6ポイント**下がりました。

《用語の説明》

(単位：千円)



※端数処理（四捨五入）により合計が一致しない場合があります。

【消費的経費】支出効果が単年度又は短期間に終わるもの、後年度に形を残さない経費

【投資的経費】社会資本整備など、支出の効果が長期にわたる経費

【人件費】職員の給与、議員や各種委員の報酬などの経費

【物件費】物品購入、光熱水費、通信費、使用料、委託料などの経費

【補助費等】各種団体や一部事務組合などに対し補助（負担）する経費

【扶助費】法令などにに基づき給付されるお金や物品などの経費

【普通建設事業費】道路、学校などの公共施設の新増設や改修に要する経費

【災害復旧事業費】風水害、地震災害を受けた施設等を復旧する経費

【繰出金等】特別会計に支出され


(単位：千円)

性質別歳出構成		6年度当初予算額	5年度当初予算額	比較	対前年比 (%)
消費的経費	人件費	2,695,626	2,454,481	241,145	9.8
	物件費	4,300,717	3,924,709	376,008	9.6
	補助費等	2,725,528	2,170,781	554,747	25.6
	扶助費等	5,666,238	4,969,304	696,934	14.0
	計	15,388,109	13,519,275	1,868,834	13.8
投資的経費	普通建設事業費	2,695,698	3,701,736	△ 1,006,038	△ 27.2
	災害復旧事業費	15	15	0	0.0
	失業対策事業費	0	0	0	-
	計	2,695,713	3,701,751	△ 1,006,038	△ 27.2
その他	公債費	1,248,698	1,176,303	72,395	6.2
	繰出金等	1,923,480	1,782,671	140,809	7.9
	計	3,172,178	2,958,974	213,204	7.2
合計		21,256,000	20,180,000	1,076,000	5.3

Ⅳ 令和6年度 主要な事務事業

1. 事務事業説明の見方

例) 災害対策事業の場合

令和6年度 重点事業の表示	事務事業名	事業費の 財源内訳	担当課の連絡先
重点	災害対策事業	事業費 18,276 千円 一般会計(消防費)	協働のまちづくり課 ☎ 938-0173
財源内訳 (町費14,376・県費600・地方債3,300)	会計名	事業の説明	事業に関する 写真・イラストなど
<p>住民の安全で安心な暮らしを守るため、防災月間・防災の日における防災に関する意識・知識の向上啓発や、自主防災組織の活動支援(防災講座・避難訓練・助成金の交付)を行うことにより、住民の自助・共助意識を高め、地域防災力を向上します。</p> <p>今年度は、緊急情報などを迅速かつ確実に伝える情報伝達手段を確保するため、防災行政無線更新の実施設計を行います。</p>			防災行政無線親局

2. 令和6年度 主要な事務事業

令和6年度は137の事務事業を予定しており、主要な事務事業について掲載しています。
※事業費に正規職員の人件費は含んでいません。

基本目標 1 つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまち

この政策の実現のため、令和6年度は予算額44億7,521万8千円を計上し、39事務事業を実施します。

1 地域のつながりを大切にしまちづくり

予算額 116,296千円(5事務事業)

重点 まちづくり活動支援事業

協働のまちづくり課 ☎ 938-0173

事業費 11,946 千円 一般会計(総務費)

財源内訳 (町費1,746・その他10,200)

ボランティアやまちづくり活動がしやすい環境を整え、多様な地域課題に対応できる協働の仕組みづくりを目指します。

今年度は、協働のまちづくりの拠点となるまちづくり活動支援室の運営体制の見直しを図り、事業の拡充を目指します。また、引き続き、団体間の交流促進及び産官学連携による地域課題の解決に向けた協働事業の実施、協定を締結している団体とのイベント開催等に取り組めます。



まちづくり活動支援室

2 地域でともに助け合う安全なまちづくり

予算額 596,766千円(14事務事業)

重点 災害対策事業

協働のまちづくり課 ☎ 938-0173

事業費 18,276 千円 一般会計(消防費)

財源内訳(町費14,376・県費600・地方債3,300)

住民の安全で安心な暮らしを守るため、防災月間・防災の日における防災に関する意識・知識の向上啓発や、自主防災組織の活動支援(防災講座・避難訓練・助成金の交付)を行うことにより、住民の自助・共助意識を高め、地域防災力を向上します。

今年度は、緊急情報などを迅速かつ確実に伝える情報伝達手段を確保するため、防災行政無線更新の実設計画を行います。



防災行政無線線局

重点 交通安全対策事業

協働のまちづくり課 ☎ 938-0173

事業費 5,913 千円 一般会計(総務費)

財源内訳(町費2,688・県費225・その他3,000)

住民の安全安心な暮らしを守るため、交通環境の整備を行うとともに、歩行者及び運転者の交通マナーアップに向けた啓発活動を行います。

改正道路交通法の施行により、全ての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となりました。今年度は、町民のヘルメット着用を促進し、交通事故被害を軽減するため、自転車乗車用ヘルメットの購入に対し補助を実施します。

粕屋町自転車ヘルメット着用推進補助金

自転車ヘルメットを
購入した方へ

最大
2,000円分を
補助します。



粕屋町自転車ヘルメット着用推進補助金

3 未来を担う子どもたちを育むまちづくり

予算額 2,581,877千円(10事務事業)

重点 小・中学校施設整備事業

学校教育課 ☎ 938-0182

事業費 1,174,785 千円 一般会計(教育費)

財源内訳(町費84,285・地方債1,088,500・その他2,000)

児童生徒が安全安心に学習できる教育環境の整備を進めるため、学校施設の計画的な改修を行います。

今年度は、粕屋中央小学校の第4期大規模改修工事及び粕屋中学校体育館の第1期大規模改修工事を行います。また、児童生徒の熱中症対策及び災害発生時の避難所生活環境改善のため、小中学校全ての体育館に空調設備を設置します。



粕屋中央小学校第3期大規模改修工事
によって整備された図書室

4 身近な学びと交流があるまちづくり

予算額 1,180,279千円(10事務事業)

重点 隣保館等管理運営事業

介護福祉課 ☎ 938-0229

事業費 417,514 千円 一般会計(民生費)

財源内訳(町費53,097・県費14,020・地方債350,100・その他297)

地域福祉の向上や、地域住民が学習や住民交流の拠点として安全安心に利用できるように、施設の適切な管理を行います。

今年度は公共施設等個別施設計画に基づき長寿命化改修工事を行い、エレベーターや太陽光発電設備の設置をはじめ、災害時の避難所としても地域住民が利用しやすい環境の整備に努めます。



改修予定箇所

基本目標 2 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち

この政策の実現のため、令和6年度は**予算額31億9,174万1千円**を計上し、**27事務事業**を実施します。

1 自然と調和した便利で快適なまちづくり

予算額 418,340千円(7事務事業)

重点 駕与丁公園魅力向上事業

都市計画課 ☎ 938-0208

事業費 262,194 千円 一般会計(土木費)

財源内訳(町費122,917・国費47,500・県費3,377・地方債42,700
・その他45,700)

本町の緑の拠点である駕与丁公園の適正な維持管理に努めるとともに、バラまつりなどのにぎわいあるイベントを実施し、憩いと交流の場として魅力の向上に努めます。

今年度は、公園施設長寿命化計画に基づく園路舗装、転落防止柵、遊具の改修工事を行うほか、トイレの改修や駐車場整備を行います。また、20周年を迎えるバラまつりでは来場者に楽しんでいただけるイベントを企画します。



駕与丁公園

重点 緑化・公園管理事業

都市計画課 ☎ 938-0208

事業費 114,423 千円 一般会計(土木費)

財源内訳(町費67,323・地方債43,800・その他3,300)

安全・安心に公園が利用できるよう、遊具や園路・外灯等の施設の点検を行うとともに、計画的に修繕や補修を実施します。また、定期的に樹木の剪定や消毒を行い、景観の保全とともに快適な環境づくりに努めます。

今年度は、柚須公園のトイレをユニバーサルデザインに配慮したトイレに建替え、屋根に太陽光発電設備を設置しゼロカーボンを推進するとともに、遊具の更新を行います。



柚須公園トイレ建替イメージ

2 安心して快適な生活基盤を備えたまちづくり

予算額 2,104,376千円(13事務事業)

道路新設改良事業

道路環境整備課 ☎ 938-0198

事業費 97,955 千円 一般会計(土木費)

財源内訳(町費23,555・国費16,000・地方債14,400

・その他44,000)

安全・安心な交通体系の充実を目指し、舗装個別施設計画に沿って老朽化した道路舗装の改良を行います。

今年度は、町道脇田・宮の前線の損傷が著しい区間に対し、舗装の打替工事を行います。

また、道路の路面性状調査及び舗装個別施設計画の見直しを行います。



脇田・宮の前線

重点 地域公共交通対策事業

都市計画課 ☎ 938-0208

事業費 34,134 千円 一般会計(土木費)

財源内訳(町費11,734・その他22,400)

駅周辺の利便性・快適性を向上させ、駅の交通結節点としての機能を高めます。また、交通弱者が安心して生活できるよう、交通事業者等と連携し、将来にわたり安定的な公共交通の確保に取り組みます。

今年度は、移動の利便性向上や公共交通の維持・活性化を目指し、モビリティの新たな導入や拡充に向けて運行準備を行います。また、交通結節機能を高めるため、主要駅の整備方針を検討します。



公共交通が充実したまちづくり

3 自然にやさしく住みよい環境のまちづくり

予算額 464,634千円(4事業)

重点 環境対策事業

道路環境整備課 ☎ 938-0198

事業費 36,096 千円 一般会計(衛生費)

財源内訳(町費32,502・県費14・その他3,580)

「2050年 ゼロカーボンシティかすや」の実現に向け、具体的な施策目標を定めた地球温暖化対策実行計画を公表し、脱炭素への取組の普及・啓発に努めます。

今年度は、公共施設等への電気自動車充電設備の設置に向けて具体的な調査・研究を進めます。



4 地域個性を活かした活力ある産業のまちづくり

予算額 204,391千円(3事業)

重点 農業振興事業

地域振興課 ☎ 938-0194

事業費 156,177 千円 一般会計(農林水産業費)

財源内訳(町費56,350・県費63,270・地方債17,000

・その他19,557)

農業の振興や農地保全・災害防止のため、農地治水に関する整備や維持管理を行うとともに、農区をはじめとした関係機関との調整を図ります。

今年度は、地震や集中豪雨などの災害発生時に農業用ため池の決壊による被害が発生することを防ぐため、谷蟹池耐震対策工事を行います。



谷蟹池

重点 地域振興事業

地域振興課 ☎ 938-0194

事業費 47,683 千円 一般会計(商工費)

財源内訳(町費12,181・その他35,502)

豊かな地域づくりと商工業発展のために、関係機関と連携しながら地域経済の持続的発展と地域の活力向上を図ります。

今年度は引き続き、粕屋町商工会と連携し、家計の負担緩和や地域における消費を喚起・下支えするために、かすやよかつPay(粕屋町プレミアム付キャッシュレス商品券)事業及びかすやの送って“うレシート”事業を実施します。



プレミアム付キャッシュレス商品券(左)
うレシート商品券(右)

基本目標3 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまち

この政策の実現のため、令和6年度は予算額155億2,138万7千円を計上し、45事務事業を実施します。

1 誰もが健康で暮らせるまちづくり

予算額 399,801千円(5事務事業)

感染症予防事業

健康づくり課 ☎ 938-0258

事業費 284,911 千円 一般会計(衛生費)

財源内訳(町費264,951・国費2,326・県費634・その他17,000)

伝染のおそれのある疾病の発生やまん延を予防するとともに、個人の発病及び重症化を防止するため、予防接種法に基づく定期予防接種を実施します。

令和6年1月から任意接種である帯状疱疹ワクチン接種の費用助成を開始しました。今年度からは新たに5種混合ワクチンや新型コロナウイルスワクチンの定期接種を開始します。



粕屋町健康センター

2 子育て世代が明るく暮らせるまちづくり

予算額 4,155,930千円(17事務事業)

重点 こども家庭センター運営事業

事業費 14,606 千円 一般会計(民生費)

子ども未来課 ☎ 938-0214

財源内訳(町費1,765・国費7,005・県費836・その他5,000)

こども家庭センター ☎ 410-2325

全ての子どもと家庭に対して、家庭に応じた支援を切れ目なく行うことで、安心して子育てができる環境を整えます。また、児童虐待防止対策として相談支援機能の充実・強化に努めます。

今年度から「こども家庭センター」を開設し、母子保健と児童福祉の連携・協働を深め、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的な相談支援体制の強化を図ります。(母子保健分野の予算については、子育て世代包括支援事業174,879千円を計上)



こども家庭センター相談室

子ども医療費助成事業

総合窓口課 ☎ 938-0215

事業費 279,139 千円 一般会計(民生費)

財源内訳(町費131,520・県費117,981・その他29,638)

児童福祉の向上を図るとともに、子育て家庭の経済的負担を軽減するため、0歳から中学校3年生までの子どもに対する医療費の一部助成を行います。

今年度から助成内容を拡充します。対象者の自己負担額限度額を、入院については0歳から中学生まで無料とし、通院については0歳から就学前までは無料、小中学生は1医療機関につき、ひと月500円までとします。

0歳から中学3年生 子どもの医療費の自己負担額が変わります

(子ども医療・重度障がい者医療・ひとり親家庭等医療)

子育て世代の経済的負担軽減を図るため、令和6年度から子どもの入院医療費の自己負担をなくし、通院医療費の自己負担額を変更します。

令和6年4月診療分から
 ◆0歳から中学3年生までの入院医療費が無料になります。
 ◆通院医療費については3歳から就学前までは無料に、小中学生から中学3年生までの自己負担額が500円/月になります。

※子ども医療費助成制度の概要

旧制度(令和6年3月診療分まで)				新制度(令和6年4月診療分から)			
自己負担額	0歳~3歳未満	小学生	中学生	自己負担額	0歳~小学校就学前	小学生	中学生
通院	無料	800円/月(上限)	1,200円/月(上限)	無料	無料	500円/月(上限)	無料
入院	500円/月(上限)	500円/月(上限)	500円/月(上限)	無料	無料	無料	無料

※自己負担額については、いづれも1医療機関につき1か月の限度です。(薬局を除く)
 ※入院の申請(入院費)は、申請書提出から診療開始まで1週間以内の受付となります。申請書の提出が遅れた場合は、申請書の提出日より前月の医療費となります。

子ども医療費助成内容拡大のお知らせ

3 高齢者が元気に暮らせるまちづくり 予算額 184,190千円(6事務事業)

元気高齢者支援事業

介護福祉課 ☎ 938-0229

事業費 35,075 千円 一般会計(民生費)

財源内訳(町費30,890・県費2,036・その他2,149)

高齢者一人ひとりが、今まで培ってきた知識や経験を、様々な場面において活かすことが出来る機会を創出し、高齢者の多様な社会参加や生きがいを支援します。

今年度も高齢者の医療と介護等の一体的実施事業で高齢者の認知症予防、フレイル予防等の講座「わくわくシニアカレッジ」を開催します。



高齢者の医療と介護等の一体的実施事業

4 障がい者がともに暮らせるまちづくり 予算額 1,935,641千円(4事務事業)

障がい福祉サービス事業

介護福祉課 ☎ 938-0229

事業費 1,835,537 千円 一般会計(民生費)

財源内訳(町費476,637・国費890,171・県費445,729・その他23,000)

障がいのある人が安心して暮らすことのできる地域社会の実現のため、障がいのある人の能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障がい福祉サービス・医療を提供します。



毎月24日は『ふくしの日』

5 誰もが心豊かに暮らせるまちづくり 予算額 8,845,825千円(13事務事業)

重点 男女共同参画推進事業

協働のまちづくり課 ☎ 938-0173

事業費 2,324 千円 一般会計(総務費)

財源内訳(町費2,324)

男女共同参画社会の実現に向けて、住民に対し様々な機会を通じて男女共同参画の趣旨を啓発し、意識の向上を図ります。

今年度は、男性も女性も共にいきいきと、その能力を發揮しながら誰もが輝く活力ある粕屋町を目指し、第2次男女共同参画計画を策定します。



男女共同参画計画 後期計画

重点 町営住宅管理運営事業

介護福祉課 ☎ 938-0229

事業費 241,865 千円 一般会計(土木費)

財源内訳(国費101,449・地方債123,400・その他17,016)

健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、生活の安定と社会福祉の増進に努めます。

今年度は、施設の居住性や安全性の向上のため、朝日団地の第1期建替工事を継続するほか、内橋団地のガス管及び給水管改修工事を実施します。



町営住宅朝日2団地

基本目標 4 健全で持続可能な行政経営をめざすまち

この政策の実現のため、令和6年度は予算額27億1,535万9千円を計上し、26事務事業を実施します。

1 町民のための行政経営のまちづくり

予算額 730,875千円(15事務事業)

重点 市制対策事業

経営政策課 ☎ 938-0175

事業費 11,363 千円 一般会計(総務費)

財源内訳(町費4,363・その他7,000)

将来の市制施行に向けた様々な取組を進めます。
今年度のシティプロモーションに係る取組として、SNSを通じて発信するプロモーション動画制作、町の認知拡大のための交通広告の掲出、町民とプロスポーツチームとの交流事業(ライジングゼファー福岡応援デーの開催)等に取り組みます。



プロモーション動画制作

重点 行政経営推進事業

経営政策課 ☎ 938-0175

事業費 16,739 千円 一般会計(総務費)

財源内訳(町費16,739)

第5次総合計画及び第2期総合戦略が令和7年度までに終期を迎えるにあたり、総合計画と総合戦略を一体化した第6次粕屋町総合計画の策定を進めます。
将来の市制を見越した実行性の高い計画にするため、組織の機構改革や業務改革もあわせて進めていきます。



第5次総合計画(後期基本計画)

重点 デジタル化推進事業

経営政策課 ☎ 938-0175

事業費 125,055 千円 一般会計(総務費)

財源内訳(町費19,244・その他105,811)

デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させるとともに、業務効率化を図り人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げます。
今年度は、本格化する自治体情報システム標準化・共通化の移行作業を進めるほか、業務の効率化に向けてシンクライアントシステムの導入やビジネスチャットツールの機能拡充を行います。



多言語インフォメーション案内システム (AIさくらさん)

2 健全な財政運営のまちづくり

予算額 1,284,988千円(8事務事業)

ふるさと納税事業

事業費 634,990 千円 一般会計(総務費)

財源内訳(その他634,990)

地域活性化及び財源確保を図るため、ふるさと納税制度の趣旨に沿って、地域振興に寄与する地場産品等を活用し、寄附金の募集に取り組みます。

今年度は、町の魅力を発信するPR業務を強化し、寄附金の増加に努めます。また、寄附者の利便性向上のため、寄附金控除の手続きのオンライン化を推進します。

協働のまちづくり課 ☎ 938-0173



ふるさと納税返礼品

重点 町有財産管理事務

事業費 157,963 千円 一般会計(総務費)

財源内訳(町費112,323・地方債1,400・その他44,240)

公共施設を長期間にわたって安全で良好な状態で使用するため、計画的に更新や維持管理を行います。また、町が保有する土地等を有効に活用することで、財源を確保します。

今年度は、引き続き、今後の庁舎の増築や改修の指針となる庁舎整備基本構想・基本計画を策定します。また、GXを推進するため、公用車の充電設備増設工事を実施し、既存公用車を電気自動車等に順次入れ替えます。

総務課 ☎ 938-0162



公用車充電設備

3 広域的な視点に立ったまちづくり

予算額 699,496千円(3事務事業)

広域サービス事業

事業費 28,968 千円 一般会計(総務費)

財源内訳(町費3,298・国費24,672・その他998)

マイナンバー制度のメリットをより実感していただけるデジタル社会を実現するため、マイナンバーカードの普及とその利活用の促進を図ります。

マイナンバーカードの利活用促進に向けて、令和5年度に実施した証明書コンビニ交付サービスの手数料10円キャンペーンを令和7年3月末まで延長します。

総合窓口課 ☎ 938-0215



コンビニ交付サービス対応キオスク端末
(役場正面玄関)

令和6年度 重点事業 及び 予算概要書掲載事業 一覧

【まちの将来像】 心かよいあう スマイルシティかすや	重点事業			
	後期重点プロジェクト			令和6年度 重点事業
	持続的成長	安全・安心	魅力・誇り向上	
【基本目標1】 つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまち	39事務事業			
1 地域のつながりを大切にしまちづくり 5事務事業			●	
2 地域でともに助け合う安全なまちづくり		●		●
				●
14事務事業		●		
3 未来を担う子どもたちを育むまちづくり	●			
	●			
				●
				●
10事務事業			●	
4 身近な学びと交流があるまちづくり				●
		●		
				●
10事務事業			●	●
【基本目標2】 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち	27事務事業			
1 自然と調和した便利で快適なまちづくり				●
				●
			●	●
7事務事業				●
2 安心で快適な生活基盤を備えたまちづくり				
13事務事業		●		●
3 自然にやさしく住みよい環境のまちづくり 4事務事業				●
4 地域個性を活かした活力ある産業のまちづくり				●
	●			
3事務事業	●			
【基本目標3】 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまち	45事務事業			
1 誰もが健康で暮らせるまちづくり 5事務事業				
2 子育て世代が明るく暮らせるまちづくり			●	
				●
17事務事業				
3 高齢者が元気に暮らせるまちづくり				
6事務事業		●		
4 障がい者がともに暮らせるまちづくり 4事務事業				
5 誰もが心豊かに暮らせるまちづくり	●			
13事務事業				●
【基本目標4】 健全で持続可能な行政経営をめざすまち	26事務事業			
1 町民のための行政経営のまちづくり				●
				●
15事務事業	●			●
2 健全な財政運営のまちづくり				
8事務事業				●
3 広域的な視点に立ったまちづくり 3事務事業				

予算概要書 掲載事業	事務事業	令和6年度 予算額 (千円)	課名
■	まちづくり活動支援事業	11,946	協働のまちづくり課
■	災害対策事業	18,276	協働のまちづくり課
■	交通安全対策事業	5,913	協働のまちづくり課
	防犯対策事業	19,720	協働のまちづくり課
	小学校運営事業	310,503	学校教育課
	中学校運営事業	142,535	学校教育課
■	小学校施設整備事業	503,263	学校教育課
■	中学校施設整備事業	671,522	学校教育課
	青少年育成事業	10,827	社会教育課
■	隣保館等管理運営事業	417,514	介護福祉課
	福祉センター管理運営事業	66,552	介護福祉課
	図書館管理運営事業	151,016	社会教育課
	歴史文化財活用事業	31,134	社会教育課
	都市計画管理推進事業	16,535	都市計画課
	地域生活空間整備促進事業	17,300	都市計画課
■	駕与丁公園魅力向上事業	262,194	都市計画課
■	緑化・公園管理事業	114,423	都市計画課
■	道路新設改良事業	97,955	道路環境整備課
■	地域公共交通対策事業	34,134	都市計画課
■	環境対策事業	36,096	道路環境整備課
■	農業振興事業	156,177	地域振興課
■	地域振興事業	47,683	地域振興課
	企業立地対策事業	531	都市計画課
■	感染症予防事業	284,911	健康づくり課
	かすやこども館運営管理事業	32,909	子ども未来課
■	こども家庭センター運営事業	14,606	子ども未来課
■	子ども医療費助成事業	279,139	総合窓口課
■	元気高齢者支援事業	35,075	介護福祉課
	高齢者福祉事業	11,805	介護福祉課
■	障がい福祉サービス事業	1,835,537	介護福祉課
■	男女共同参画推進事業	2,324	協働のまちづくり課
■	町営住宅管理運営事業	241,865	介護福祉課
■	市制対策事業	11,363	経営政策課
■	行政経営推進事業	16,739	経営政策課
■	デジタル化推進事業	125,055	経営政策課
■	ふるさと納税事業	634,990	協働のまちづくり課
■	町有財産管理事務	157,963	総務課
■	広域サービス事業	28,968	総合窓口課

V 予算資料

1. 総括表

(単位：千円)

	令和6年度	令和5年度	比較増減	対前年比(%)
一般会計	21,256,000	20,180,000	1,076,000	5.3
特別会計	7,290,396	6,791,299	499,097	7.3
国民健康保険	3,835,095	3,469,889	365,206	10.5
後期高齢者医療	673,438	602,432	71,006	11.8
介護保険	2,781,863	2,718,398	63,465	2.3
保険事業勘定	2,757,631	2,698,712	58,919	2.2
介護サービス勘定	24,232	19,686	4,546	23.1
住宅新築資金等貸付事業	0	580	△ 580	△ 100.0
合計	28,546,396	26,971,299	1,575,097	5.8

※住宅新築資金等貸付事業特別会計…令和6年3月をもって廃止

(単位：千円)

公営企業会計		令和6年度	令和5年度	比較増減	対前年比(%)
水道事業	収益的収入	1,070,148	1,073,320	△ 3,172	△ 0.3
	収益的支出	974,195	930,999	43,196	4.6
	資本的収入	4,100	9,100	△ 5,000	△ 54.9
	資本的支出	470,031	508,330	△ 38,299	△ 7.5
流域関連 公共下水道 事業	収益的収入	1,263,226	1,201,343	61,883	5.2
	収益的支出	1,245,187	1,239,916	5,271	0.4
	資本的収入	692,942	711,327	△ 18,385	△ 2.6
	資本的支出	980,030	955,838	24,192	2.5

【一般会計とは】

目的を限定せずに、行政運営の基本的な経費を管理する会計です。子育て支援、高齢者や障がい者のための福祉事業、生活基盤（学校、道路、公園等）の整備や健康づくりなど、生活全般に関係する事業に必要なお金の管理を行います。

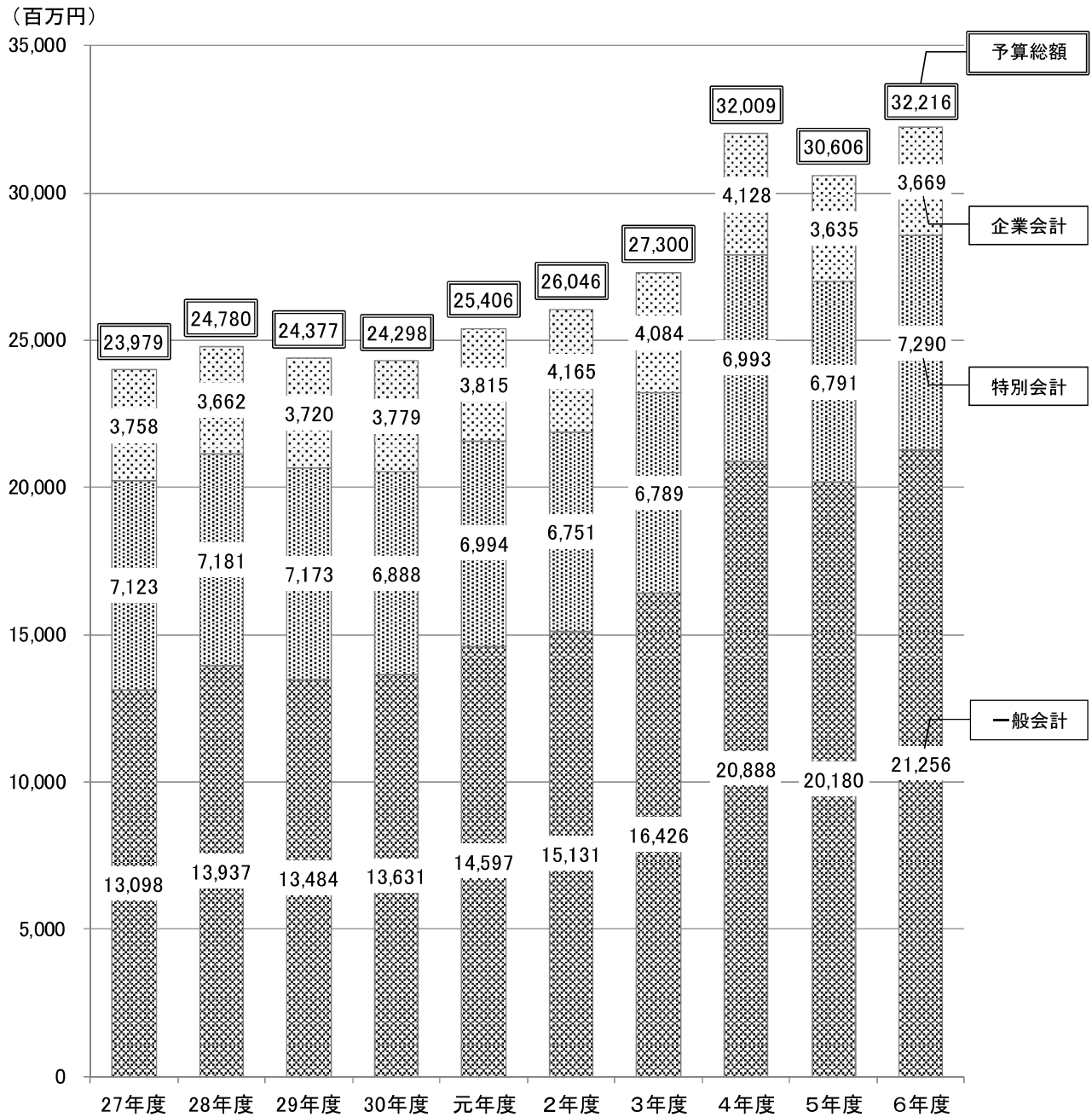
【特別会計とは】

特定の事業や特定の資金を運用するために、一般会計と区分して管理する会計です。かかった経費を保険料など入ってくるお金でまかなうため、一般会計とは別にしています。

【企業会計とは】

地方公共団体が営む公共的な事業（水道事業など）を管理する会計です。民間企業と同じように、利用した人から料金をもらって（事業で収入をあげて）、かかる経費をまかないます。

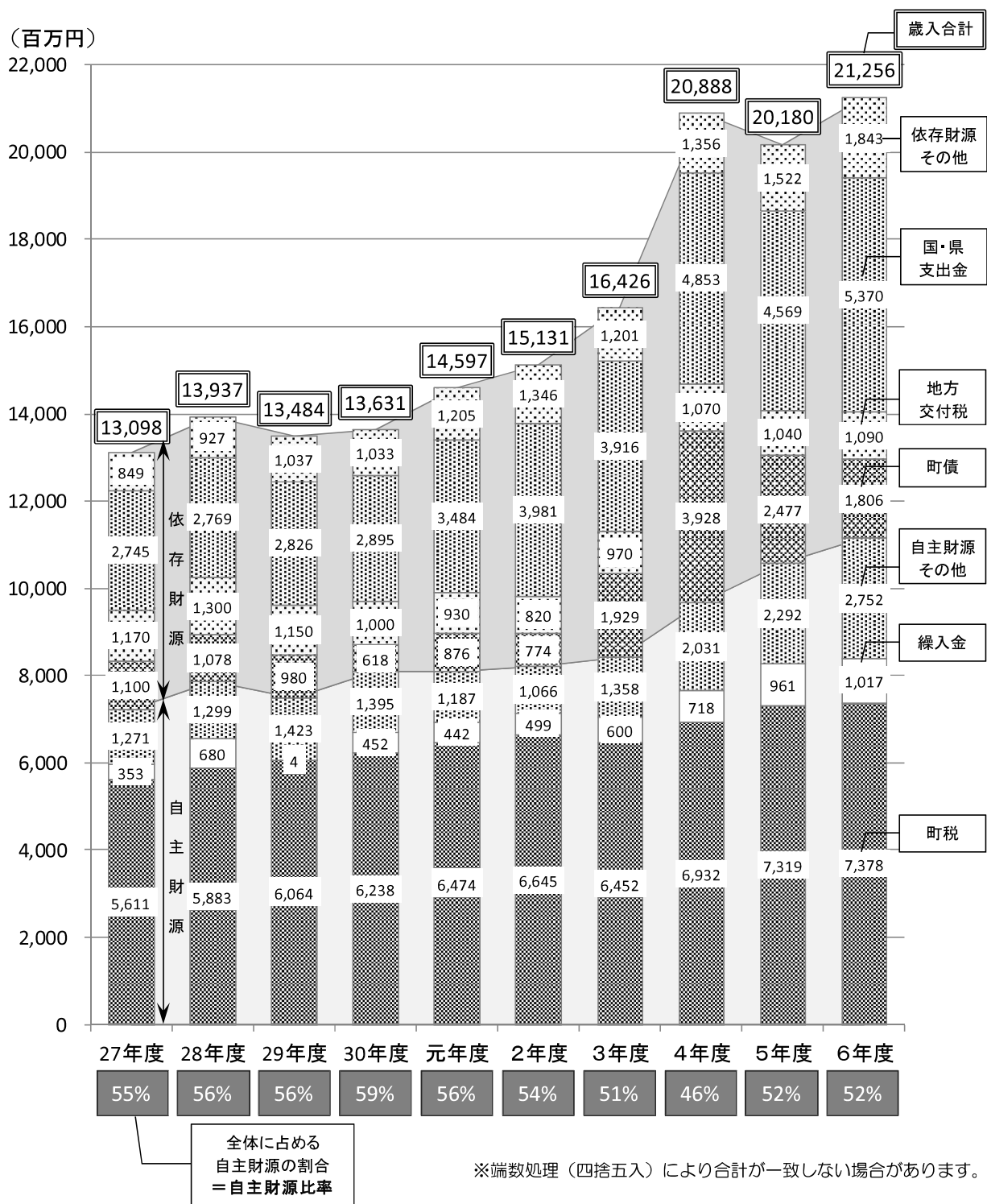
2. 予算規模の推移（一般会計・特別会計・企業会計）



※端数処理（四捨五入）により合計が一致しない場合があります。

※企業会計は収益的支出と資本的支出の合計額を記載しています。

3. 自主財源比率の推移（一般会計）



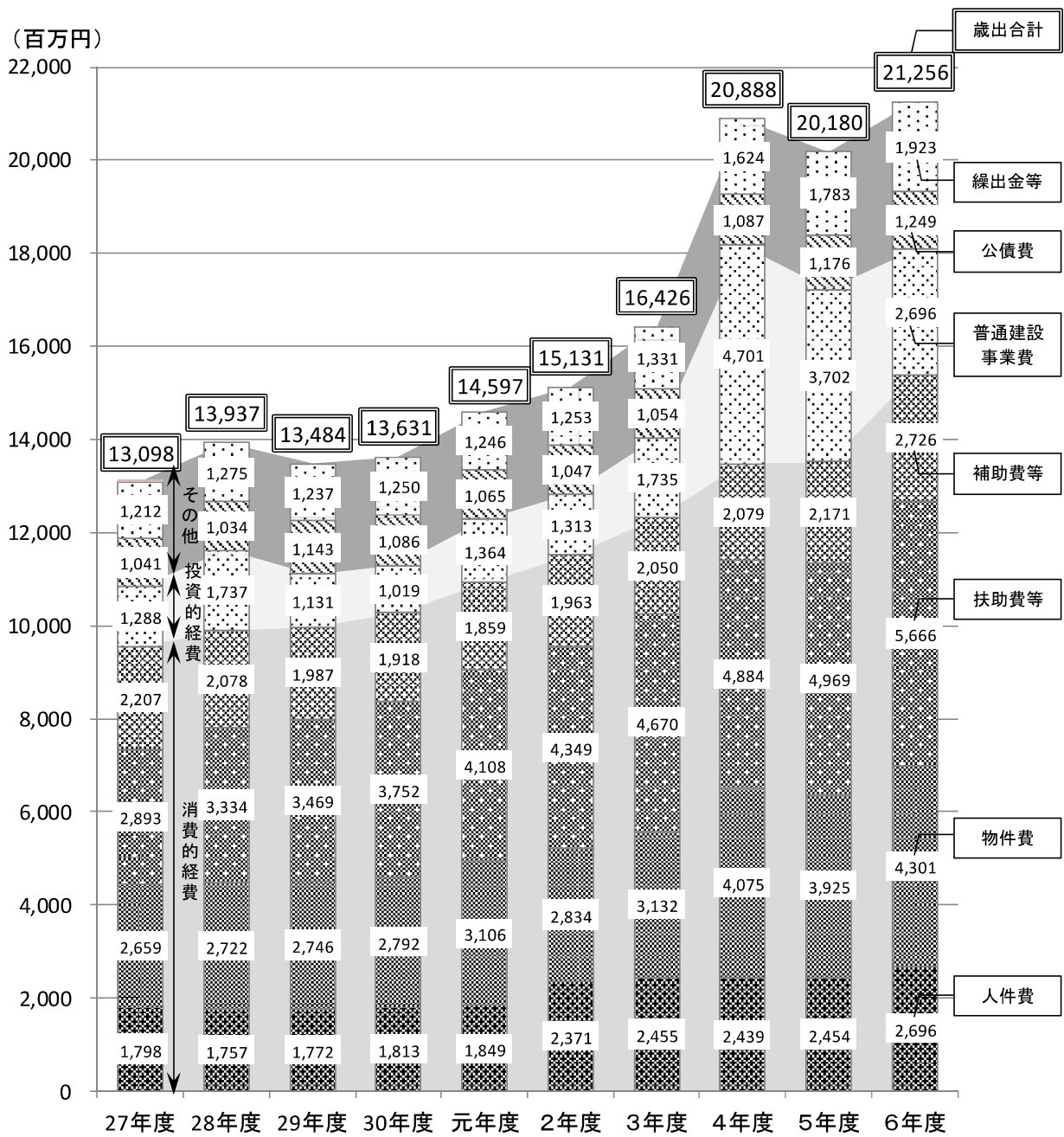
【自主財源とは】

地方公共団体が自主的に収入できる財源です。町税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入があります。

【依存財源とは】

国や県の配分による財源です。地方交付税、国・県支出金、地方譲与税、町債があります。

4. 消費的経費・投資的経費の推移（一般会計）



※端数処理（四捨五入）により合計が一致しない場合があります。

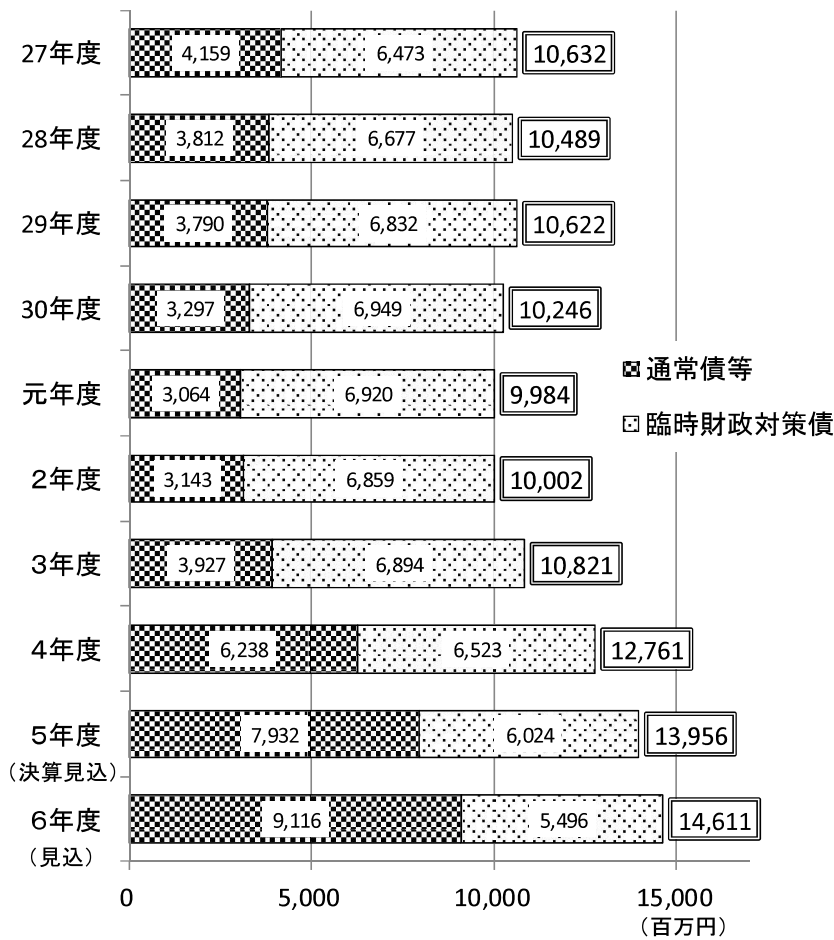
【消費的経費とは】

支出効果が単年度又は短期間に終わるものであり、後年度に形を残さない経費です。
人件費、物件費、維持補修費、扶助費、補助費などをいいます。

【投資的経費とは】

社会資本整備など、支出の効果が長期にわたる経費です。
普通建設事業費、災害復旧事業費、失業対策事業費をいいます。

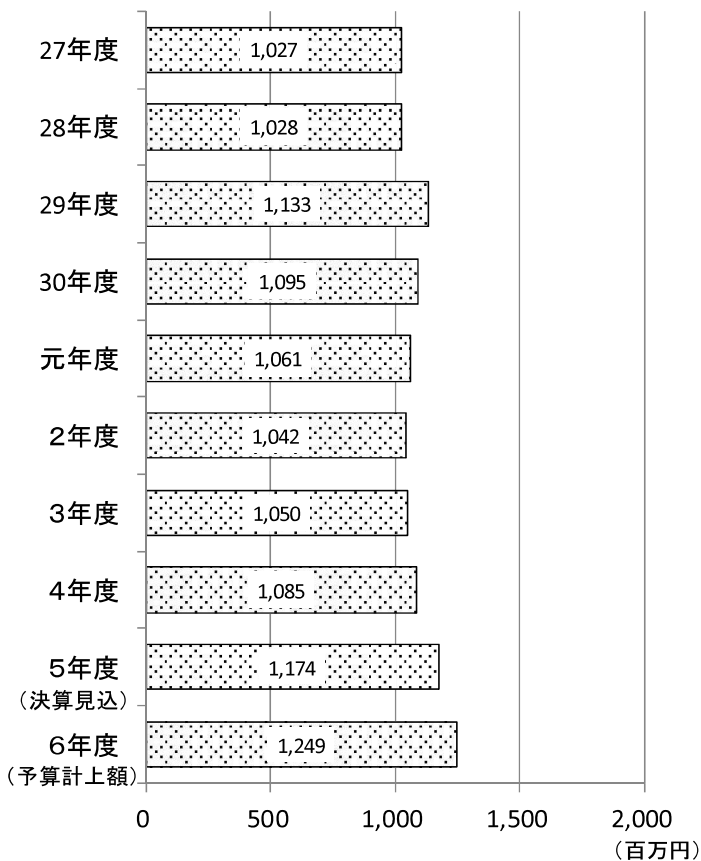
5. 地方債残高の推移（一般会計）



【臨時財政対策債とは】
 地方一般財源の不足分を補うため、平成13年度から特例的に普通交付税の振替として発行されている地方債（地方公共団体の借金）で、元利償還金相当額が後年度の地方交付税に算入されます。

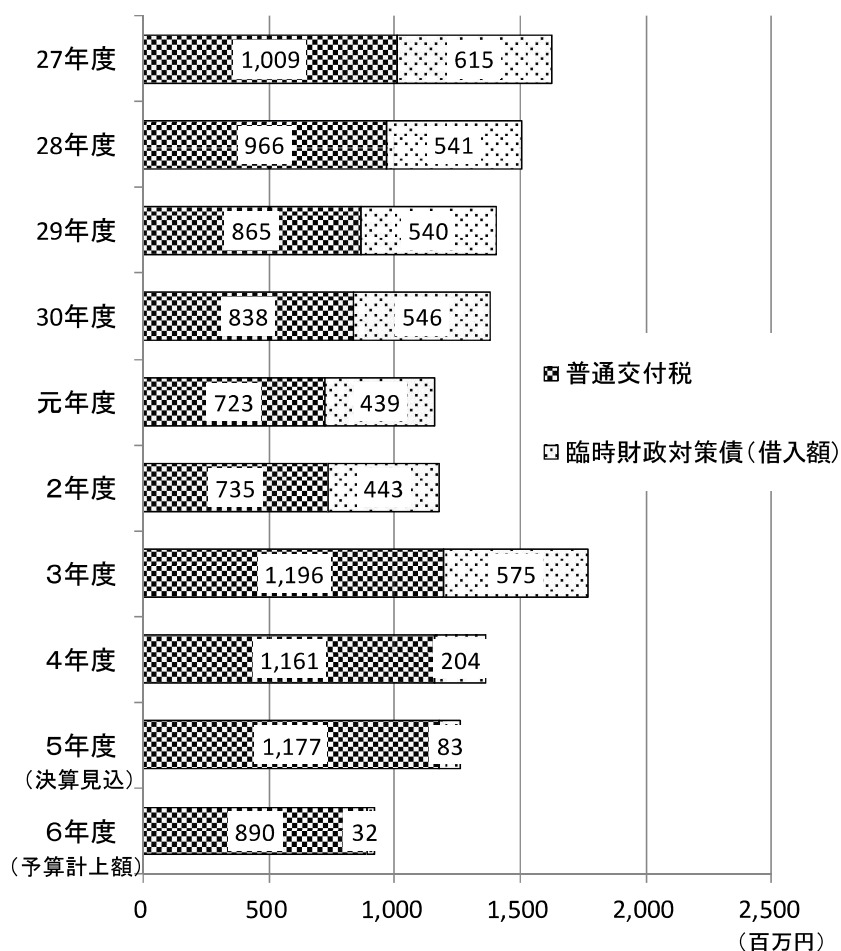
※端数処理（四捨五入）により合計
 が一致しない場合があります。

6. 公債費の推移（一般会計）



【公債費とは】
 借金である地方債の返済に充てる費用で、元金と利息の合計です。

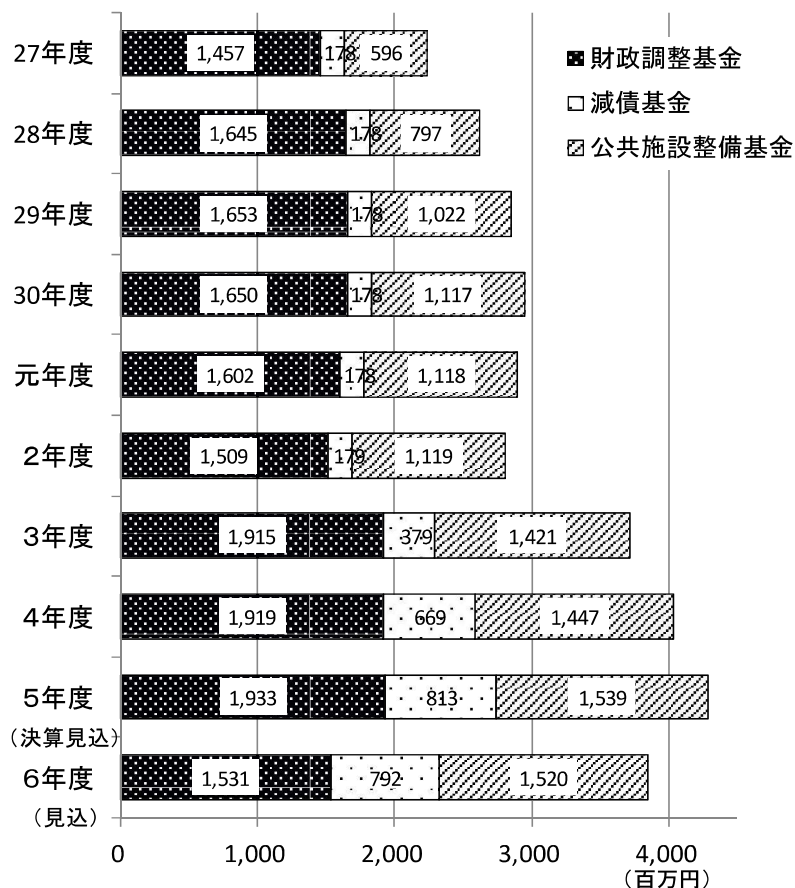
7. 普通交付税と臨時財政対策債の推移



【普通交付税とは】

町の行政運営に必要な経費を一定の方法により算出した額(基準財政需要額)から、町に入る税金などをもとに計算した額(基準財政収入額)を差し引いた額で、国から交付されるものです。

8. 基金の推移



【財政調整基金とは】

将来の予期しない財源不足に対応するために積み立てる基金です。

【減債基金とは】

地方債の償還や借入れの信用の維持のために積み立てる基金です。

【公共施設整備基金とは】

将来の公共施設建設や財産維持のために積み立てる基金です。

これらの他に、地域福祉基金や井堰管理基金など特定目的に使う基金があります。

9. 地方債と基金の状況

(単位：千円)

区	分	令和4年度末 現在高	令和5年度末 現在高見込額	令和6年度増減見込み		令和6年度末 現在高見込額
				当該年度中 起債見込額	当該年度中 元金償還見込額	
一般会計		12,760,789	13,955,962	1,855,700	1,200,262	14,611,400
流域関連公共下水道事業会計		7,317,445	6,937,748	451,200	793,636	6,595,312
水道事業会計		1,810,610	1,645,215	0	138,361	1,506,854
合計		21,888,844	22,538,925	2,306,900	2,132,259	22,713,566

(単位：千円)

区	分	令和4年度末 現在高	令和5年度末 現在高見込額	令和6年度増減見込み		令和6年度末 現在高見込額
				当該年度中 積立見込額	当該年度中 取り崩し見込額	
一般会計		5,091,853	5,443,811	573,746	1,017,094	5,000,463
国民健康保険特別会計		3,000	3,000	0	0	3,000
介護保険特別会計		352,860	395,332	51	90,693	304,690
流域関連公共下水道事業会計		40,000	90,000	0	90,000	0
水道事業会計		1,217,000	1,107,000	130,000	200,000	1,037,000
合計		6,704,713	7,039,143	703,797	1,397,787	6,345,153